

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市バイオマスタウン推進協議会
2 開催日時	平成28年2月19日(金) 14:00から
3 開催場所	河内長野市立市民交流センター 3階 視聴覚室
4 会議の概要	1. 河内長野市バイオマスタウン構想の方向性について 2. 今年度の取組み及び来年度の計画について (1)竹パウダー培土の利用 (2)竹箸の利用 (3)木質バイオマスの利用 (4)自治会とタイアップした廃食用油戸別回収事業 (5)SVO発電の普及促進 3. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	1人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境共生部 環境政策課 (内線 558)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 第 17 回 河内長野市バイオスタウン推進協議会 議事要旨

開催日時：平成 28 年 2 月 19 日(金), 14:00~15:30

開催場所：河内長野市立市民交流センター 視聴覚室

〔出席者〕 (省略)

### 次第

1. 河内長野市バイオスタウン構想の方向性について
2. 今年度の取組み及び来年度の計画について
  - (1) 竹パウダー培土の利用
  - (2) 竹箸の利用
  - (3) 木質バイオマスの利用
  - (4) 自治会とタイアップした廃食用油戸別回収事業
  - (5) SVO発電の普及促進
3. その他

### 開会

開始時間になり、会長あいさつの後、議題に入った。

### 議題

#### 1. 河内長野市バイオスタウン構想の方向性について

資料 1 に基づき、事務局より説明を行った。具体的な活動に結び付くような実施計画を盛り込んでほしいとの意見があり、年度ごとの事業計画も記載すると回答した。

#### 2. 今年度の取組み及び来年度の計画について

##### (1) 竹パウダー培土の利用

資料 2 に基づき、事務局より説明を行った。抽出液については、農薬として使用するとすると農薬取締法の規制等が関係してくるので、注意が必要との意見があった。また、森林整備と併せて竹も多く切り出されるので、その活動も視野に入れて竹の供給体制を整えてほしいとのこと。

##### (2) 竹箸の利用

資料 2 に基づき、事務局より説明を行った。竹箸・竹串・黒文字楊枝を詰め合わせたお土産用のセットがあれば、少々高価でも海外からのお客さんをターゲットに販売できるのではないか、との意見をいただいた。また、菊水産業は河内長野市産の黒文字で楊枝を作りたいとの意向を持っており、大阪府立大学、森林ボランティアトモロスが黒文字の生態調査や植樹に協力している。

##### (3) 木質バイオマスの利用

資料 3 に基づき、事務局より説明を行った。奥河内くろまろの郷の薪販売所は 12/28 に開設した。火をつけられる危険性もあり、ストックヤードはなく、売れば補充をしている状況である。荷車は移動できるようになっており、夜間は施設内で保管しているとのこと。市の広報で宣伝できれば、もっと多くの人に知ってもらえるとの意見をいただいた。

木質バイオマス利用で発電する際には、電力供給だけでなくそこで生じる熱利用も考えなければならぬ。熱利用も行っているドイツなどではエネルギー回収率が非常に高いとのこと。また、林業施策として作業道の整備も必要であるとの意見をいただいた。大阪府の木の駅プロジェクトの情報が入り次第、会長と事務局で随時情報共有していく。

(4) 自治会とタイアップした廃食用油戸別回収事業

資料3に基づき、事務局より説明を行った。来年度は、同じ地域で行ってはどうかとの意見があったが、事業周知のため場所を変えて実施したいと回答した。

(5) SVO発電の普及促進

資料3に基づき、事務局より説明を行った。花の文化園のイルミネーションで使ってもらってはどうかとの意見をいただいた。

3. その他

井戸委員より、交流のある蕎麦屋から事業でだしガラの「かつおぶし」が多く、何かに使えないかとの相談があったとのこと。使い道として、猫の餌や竹パウダーと混合するなどの意見があった。

河内長野市バイオマスタウン推進協議会の委員17名の内12名が3月30日で任期満了となる。みなさんに2年間のお礼と来年度新たな委員の公募・選出依頼を行うことを伝えた。

閉会